

下伊場野小

何度も練習 大切な思い出



これがイチオシ

サケ稚魚育て「命」学ぶ

下伊場野小学校は毎年、12月にサケの卵をいただきます。本年度は大和町吉田沢渡ふ化場から、1000個いただきました。稚魚が5センチになるまで、水槽で温度管理をしながら大切に育てます。全校児童が順番にタブレットで、水温や気付いたことを記録します。

稚魚が大きくなると、学校の後ろの鳴瀬川に「元気に帰って来てね」と言いながら放流します。放流は、寂しい気持ちと、サケが元気に帰って来てほしい気持ちが混ざり合います。今年は1000匹の命を大切に育てます。

学校名 大崎市立下伊場野小学校
所在地 大崎市松山下伊場野大柳22
創立 1991年
電話 0229(55)3161
校長 佐藤 英知
児童数 8人

下伊場野小学校では、4年生から6年生の8人で太鼓に取り組んでいます。伝承されている太鼓は「ぶち合わせ太鼓」や「下伊場野太鼓」「三宅島太鼓」の三つです。特に思い入れがあるのは「ぶち合わせ太鼓」です。この曲は一度、伝統が途絶えてしまいました。しかし、下伊場野小出身の先生が本年度赴任したことで、7月から練習を重ね、復活しました。「ぶち合わせ太鼓」には一番太鼓、二番太鼓、三番太鼓、しめ太鼓があり、それぞれの演奏が組み合わさります。



ぶち合わせ太鼓を演奏した4～6年生

編集委員 後藤陽菜、佐藤弓真、高橋杏花、今野沙奈(6年) 遠山良治、高橋謙伍、佐藤優心(5年) 山口結寿葵(4年)
指導教員 早坂貴史、高橋慶吾、今藤誠啓、丹野真由美

復活させた「伝統太鼓」

わが校わがまち スクール通信



今回は 鶴が丘小(仙台市) 大谷小(気仙沼市)

明るい雰囲気広がる活動

向陽台小

言葉と行動温かい絆に

向陽台小学校では毎年、「あったか言葉ときらきら行動」を大切にしています。「あったか言葉」は、言われた人の心がぽかぽかと温かくなる言葉、「きらきら行動」は、みんなのためにやるべきな行動のことです。この二つを意識すると、言葉をかけられた人も、行動した本人も気持ちが良い、学校中が明るい雰囲気になります。児童会を中心に「きらきら朝会」「あいさつタイム」など、活動を広げる取り組みもしています。



あったか言葉・きらきら行動の木

編集委員 伊藤柚希、大熊まひる、黒川結利華、鈴木里奈、寺澤凜、山内凜子(6年)
指導教員 鈴木健一、武田峻

各クラスでも工夫して活動しています。例えば「あったか言葉・きらきら行動の木」という取り組みでは、自分や友達の優しい言葉や行動を花の形のカードに書き、教室の木に貼ります。カードが増えるたびに、クラスに思いやりの気持ちが広がるのが分かります。私たちは「あったか言葉ときらきら行動」を通して、お互いに良さを認め合い、相手を思いやれる人になれるよう、大切に毎日を送っています。これからもこの温かい絆を広げ、さらに明るい学校にしていきたいです。



これがイチオシ

「ニコニ」で自然に笑顔

向陽台小学校では、毎年児童会のキャラクターとスローガンを作成しています。本年度のスローガンは「～みんなの笑顔はみんなの力～」です。

キャラクターに決まった「ニコニ」は、声に出すと自然に笑顔になれるように、との願いが込められています。代表委員会や計画委員会、担当の先生が中心となり、全校児童から寄せられた約600点のイラストと名前の案から投票で決定しました。秋の運動会で発表して以来、学校のキャラクターとして全校のみんなに親しまれています。

学校名 仙台市立向陽台小学校
所在地 仙台市泉区向陽台5の6の12
創立 1974年
電話 022(372)7530
校長 舟山 秀人
児童数 669人



カットされた髪を見せる優人さん

病氣や事故で髪を失った子どもにも医療用ウィッグを提供するヘアドネーションに協力しよう、と、仙台市八乙女小2年佐々木優人さん(8)が、保育園の年中から約4年間伸ばしてきた長さ約50センチの髪をカットした。優人さんがヘアドネーションに興味を持ったのは、祖母山田和枝さん(62)との会話から。福祉施設での勤務経験がある山田さんから「髪がなくなっている子どもがいるんだよ」と聞き「自分もやってみたい」と申し出た。七五三に合わせて4歳の時に髪を切った以降、伸ばし続けた。小学校入学直後は女の子の間違われることもあったが、理由を知ったクラスメイトから「頑張ってる」と励まされたという。「夏は汗でびしょびしょになるのが大変だった」と優人さん。それでも身長123センチの腰

「僕の髪役立てて」

仙台の佐々木さんヘアドネーション

本のプロ 推しの一冊

虹色ほたる 永遠の夏休み

川口 雅幸 作 アルファポリス



かけがえない夏の思い出

みなさんにとって、忘れられない夏休みの思い出はありますか。家族と旅行に行ったり友達と遊んだり、おじいちゃんおばあちゃんの家泊まりに行ったりと、いろいろな思い出があると思います。

主人公のユウタにも特別な夏休みの思い出がありました。ある夏の日、父との思い出があるダムにカブトムシを捕まえに来ていました。ところが突然の大雨で転んで気を失ってしまいます。目を覚ますと、30年以上前

の世界、なんと、もうすぐダムに沈む前の村にタイムスリップをしていたのです。

そこで出会ったのは不思議な少女さえ子とやんちゃなケンゾー。ホテルの名所と呼ばれる村で大切な仲間と過ごすうちに、かけがえない夏休みへと変わっていきます。そんなある日さえ子から秘密を打ち明けられて…。ホテルがつながる2人の物語、読んでみませんか。小学校高学年から。(宮城県図書館 渡辺奈津美さん)